ビダーザ®による治療を受けられる方へ

投与スケジュール

1～7日目	8日目以降
ビダーザ®	休薬期間
点滴または皮下注射	

1コース（4週間）

4週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現の時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※　個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●注射部位反応 ●吐き気・嘔吐、食欲不振 ●倦怠感
数日～数週間	●白血球減少 ●血小板減少 ●口内炎 ●便秘 ●下痢 ●発疹
数週間～数ヵ月	●貧血

◇注射部位反応
点滴中および投与後に、注射部位が痛んだり腫れてきた場合はすぐにお申し出ください。

◇吐き気・嘔吐、食欲不振
なるべく水分を摂るようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べるようにしましょう。

◇白血球減少：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛
38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。
外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。
手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇血小板減少：血が出やすい、アザができる
血が止まりにくくなるため、ケガや転倒、打撲には十分注意しましょう。また鼻かみや歯磨きは優しく行うようにしましょう。

◇口内炎：口の中が痛い、しみる、味がおかしい
うがいなどをして口の中を清潔に保つようにしてください。痛みを伴う場合は早めに報告してください。

◇便秘
高脂肪食品を控え、水分や食物繊維をとるようにしましょう。また、軽い散歩を心がけたり、おなかのマッサージをしたりしましょう。
便秘が長く続き、おなかが張って苦しいときは、受診してください。

◇下痢
1日4回以上の排便や水様便がみられた場合は、すぐに受診してください。
下痢がある場合は乳酸菌食品の摂取を控えてください。
水分をこまめに摂り、温かくして安静に過ごしましょう。

◇発疹
手や足、顔、背中などに赤みを帯びて腫れてくることがあります。
発疹の程度によって副腎皮質ホルモン（ステロイド剤）などを用いて治療します。

◇ヘモグロビン減少：めまい、ふらつき
赤血球が減少して貧血になることがあります。
貧血がひどい場合は、輸血を行うこともあります。

文責：岐阜市民病院薬剤部　TEL: 058-251-1101